



美杉山荘 建設プロジェクト

大阪工業技術専門学校

テラス上屋 – 基礎工事その2

砂利の転圧が済めば、型枠と配筋工事に入ります。これらのコンクリート工事はやり直しのできない工事です。特に基礎では、建物の位置や高さが決まってしまうので、慎重に進めなければなりません。レベルを用いて正確な高さに型枠をセットし水平な基礎ベースにすることで、立ち上がり部分のコンクリートブロックの精度が決まります。建築学科の生産コースではこの様な実習も一部取り入れています。学校での実習と実際の現場とは勝手が違い、試行錯誤の連続となりました。



砂・砂利・セメントの配合は??
鉄筋の間隔は?? あれこれ思い出しながら、あるいは手で感触を確かめながらの作業となりました。



コンクリートは硬めに練って、型枠内にしっかり充填するように打設することが大事。ブロックは基準の水糸に沿わせて水平に並べます。接着剤代わりのモルタルの硬さを調整しながら慎重に、丁寧に。

